



環境リモートセンシング研究センター
Center for Environmental Remote Sensing



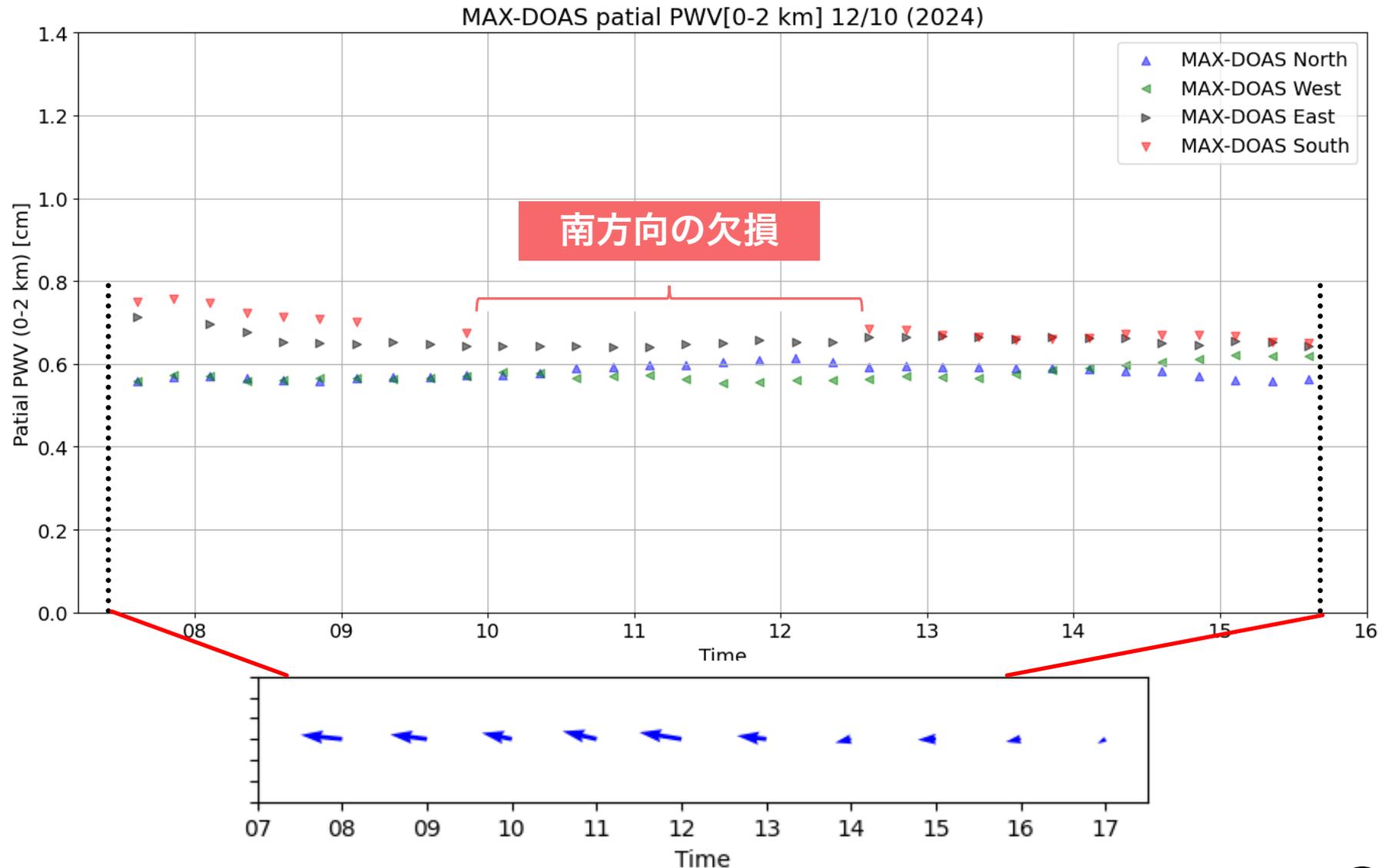
入江研究室
千葉大学環境リモートセンシング研究センター

Chiba Campaign 2024 (12/4-12/13)

Daily Report 12/11

B4 大塚涼平

MAX-DOAS部分可降水量とMaxiMet風向風速解析(12/10)



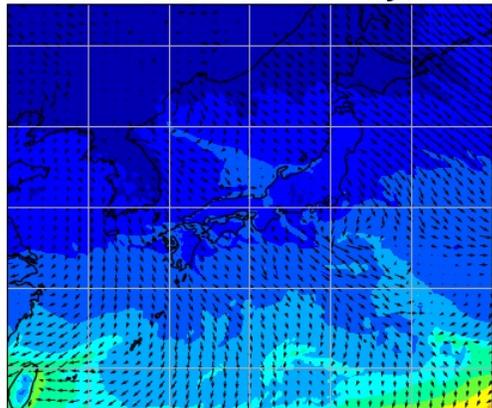
• MAX-DOASは0-2 kmのデータを可降水量に変換してプロット

@千葉サイト

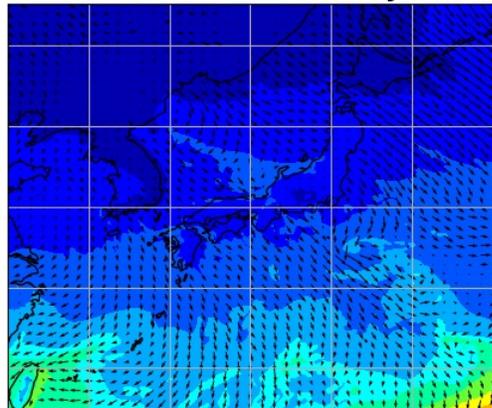
MSM水蒸気混合比解析 (12/10)

MSM Analysis 1000hPa Water Vapor Mixing Ratio

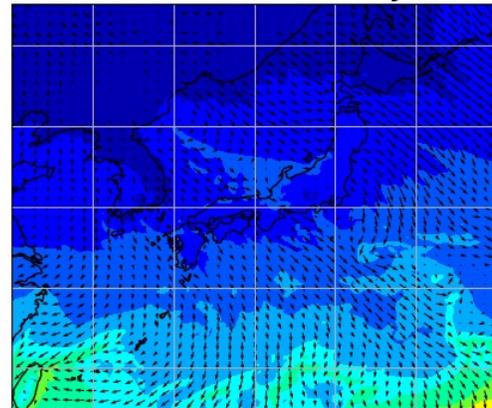
2024-12-10 09:00 JST



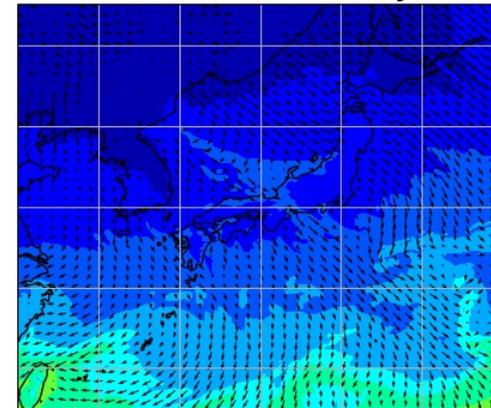
2024-12-10 12:00 JST



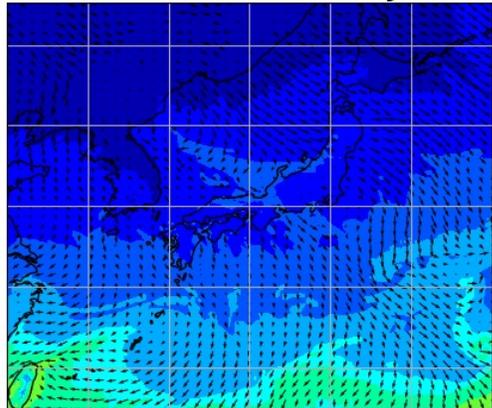
2024-12-10 15:00 JST



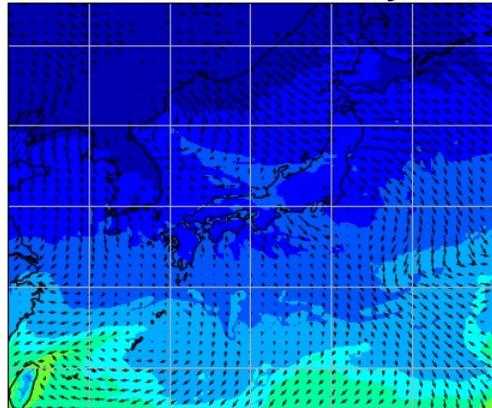
2024-12-10 18:00 JST



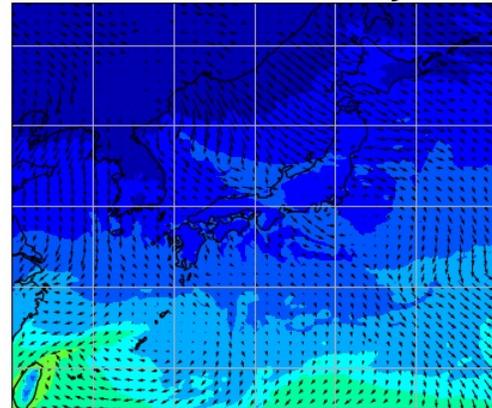
2024-12-10 21:00 JST



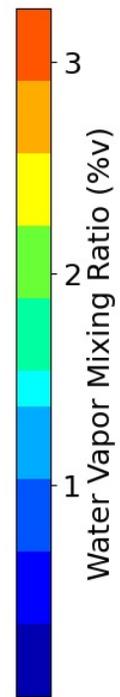
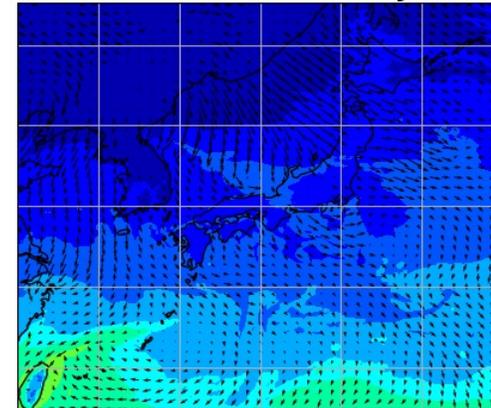
2024-12-11 00:00 JST



2024-12-11 03:00 JST



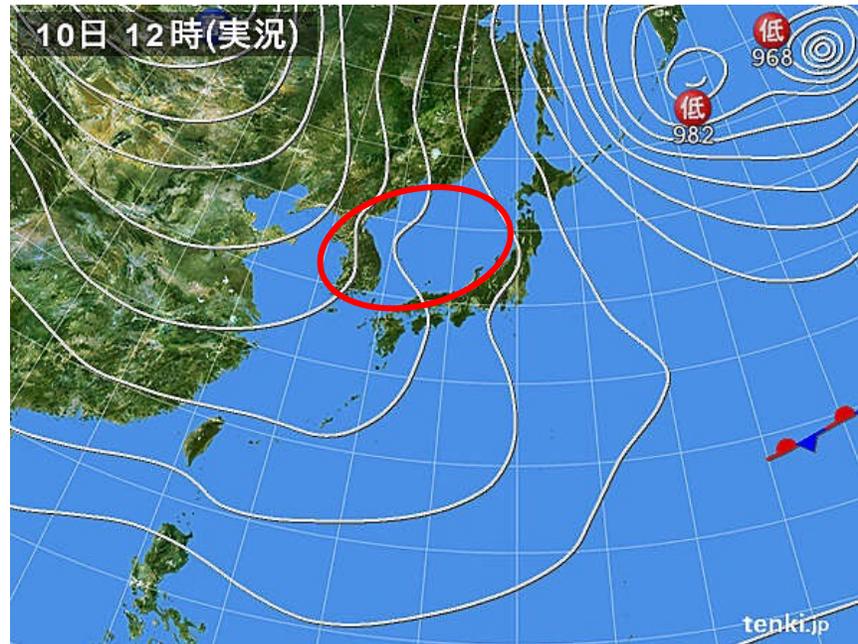
2024-12-11 06:00 JST



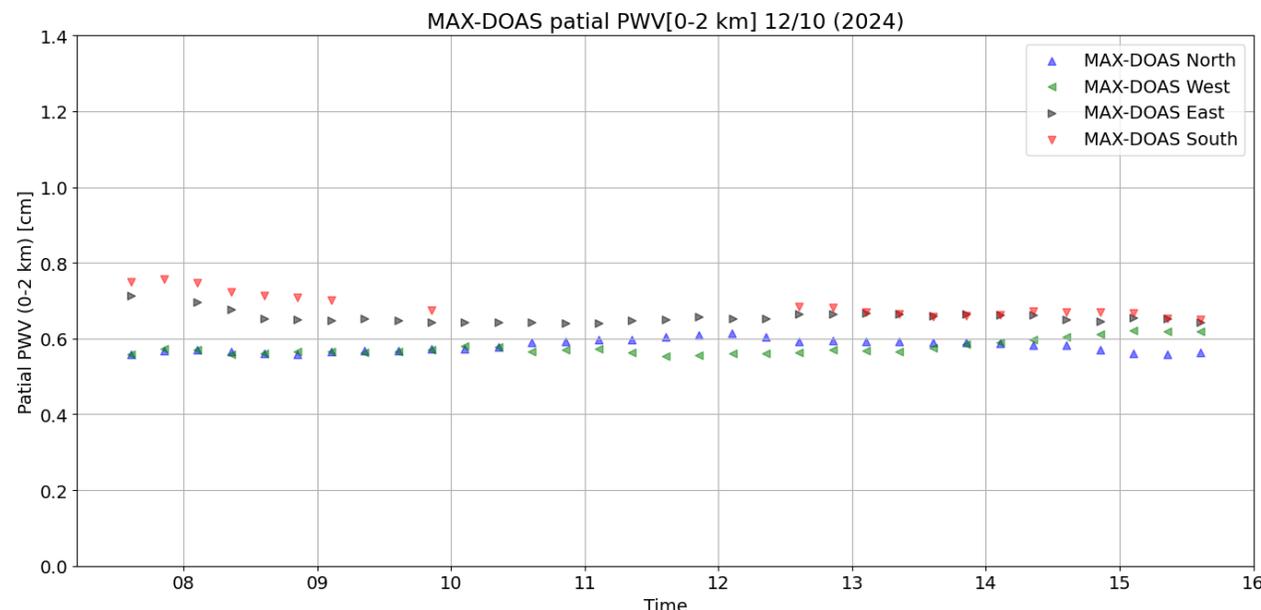
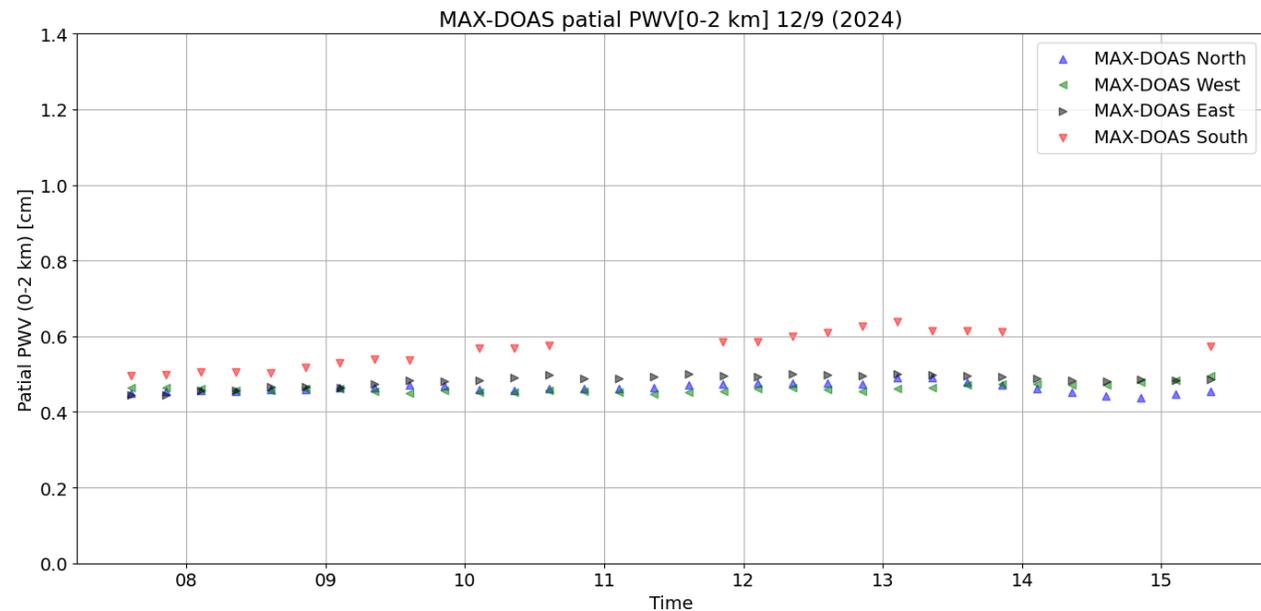
10 m/s

考察・まとめ

- 相変わらず西高東低の冬型の気圧配置が続く
- 山陰から北陸にかけて等圧線が低圧部から見て凸になっている部分がありここでは雨が降りやすくなっている
- 日本周辺の水蒸気混合比はここ最近で最も小さく、沖合の方でもかなり低い値になっている



考察・まとめ



10日の部分可降水量は9日よりも
0.2 cmほど大きくなった
千葉付近では海からの風が吹き込み
周辺よりも水蒸気量が多くなっている
のかもしれない
東向き値も大きめに出るようになり、
その他の方角についても値の大きい
南に追いつくような形となった